

2025年3月期（2024年度）

**TOSO トーソー株式会社**

（東証スタンダード市場 証券コード：5956）

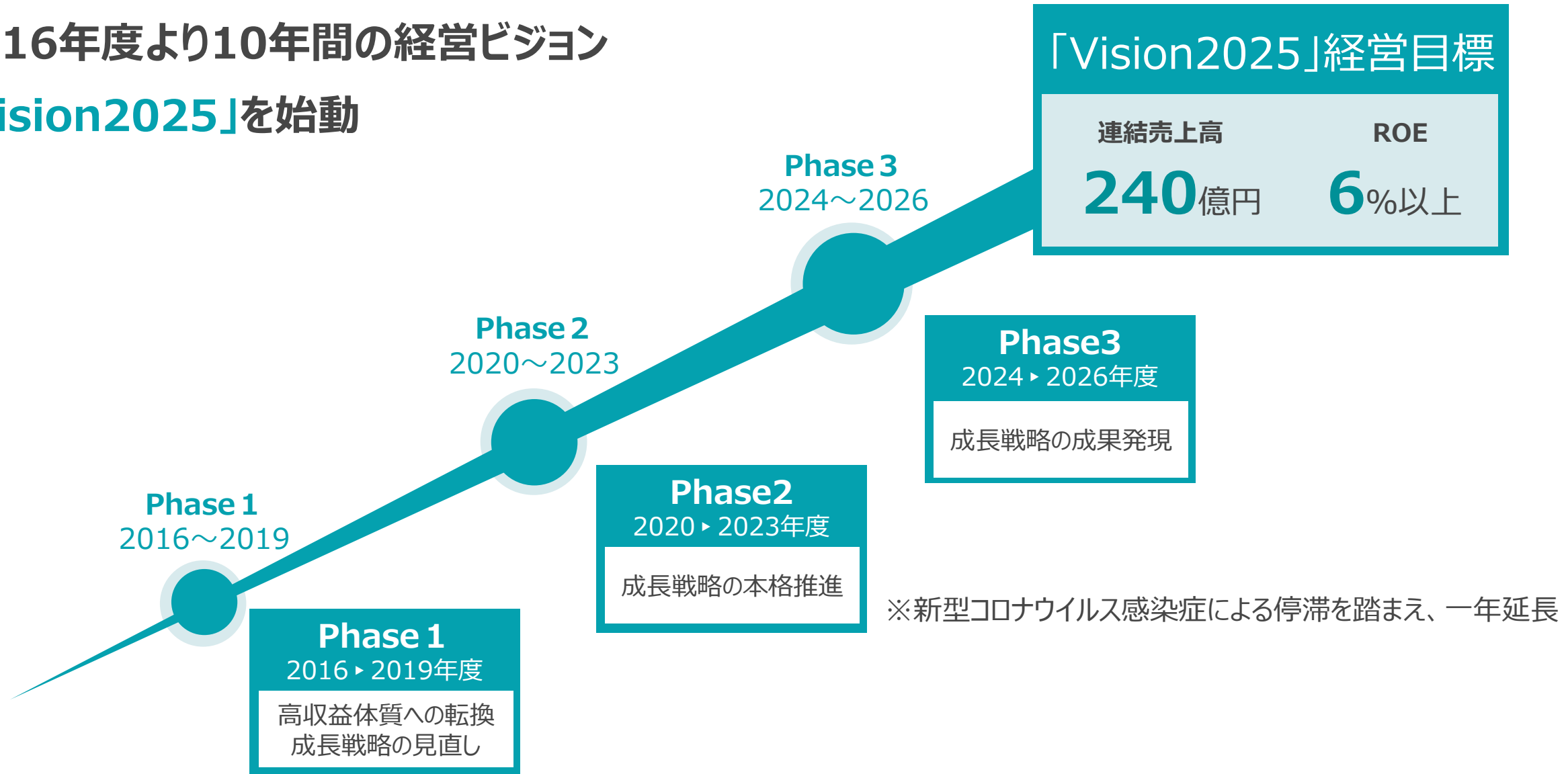
**中間期 決算説明**

2024年11月



# 経営ビジョン「Vision2025」

## 2016年度より10年間の経営ビジョン 「Vision2025」を始動

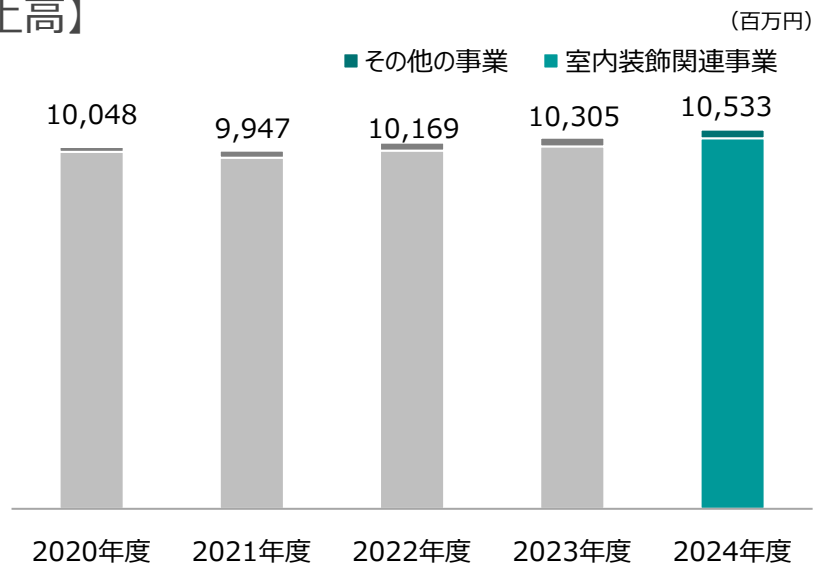


# 2025年3月期（2024年度）中間期業績

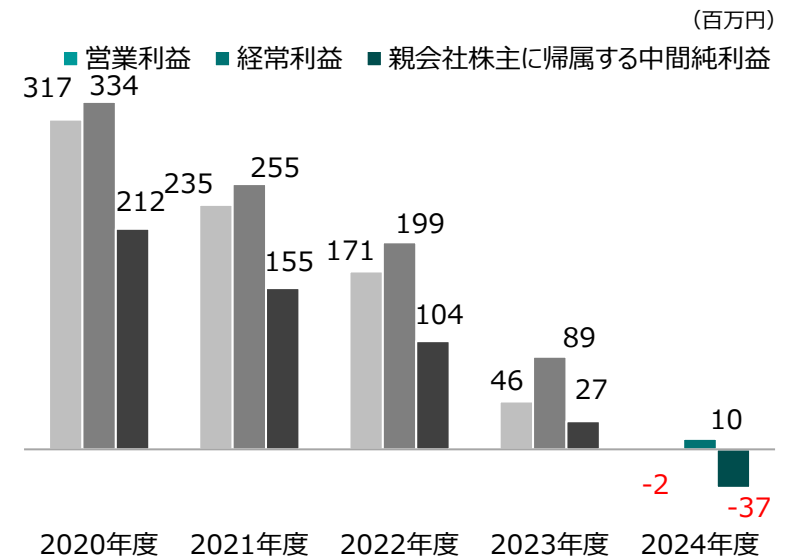
# 2024年度中間期業績概況

	実績	コメント
売上高	10,533百万円 	住宅分野や海外販売、福祉用品販売の増加が影響
営業損益	△2百万円 	営業活動費用や人件費の増加が影響
経常利益	10百万円 	営業外収入の減少（保険解約返戻金など）
親会社株主に帰属する中間純損益	△37百万円 	特別利益の減少（投資有価証券売却益など）

## 【売上高】



## 【利益】



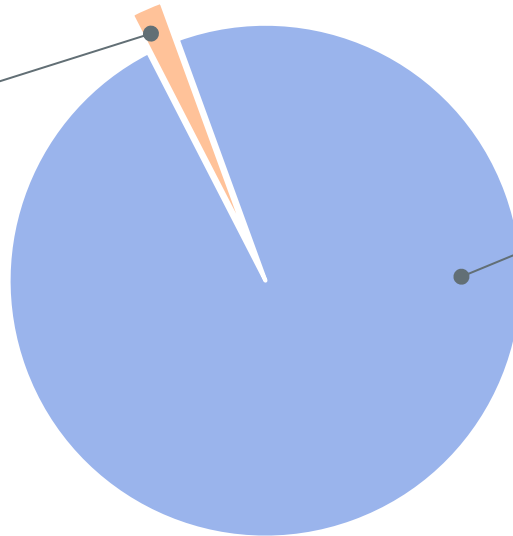
# トソーグループの事業内容



その他の事業

売上高構成率

2 %



室内装飾関連事業

売上高構成率

98 %

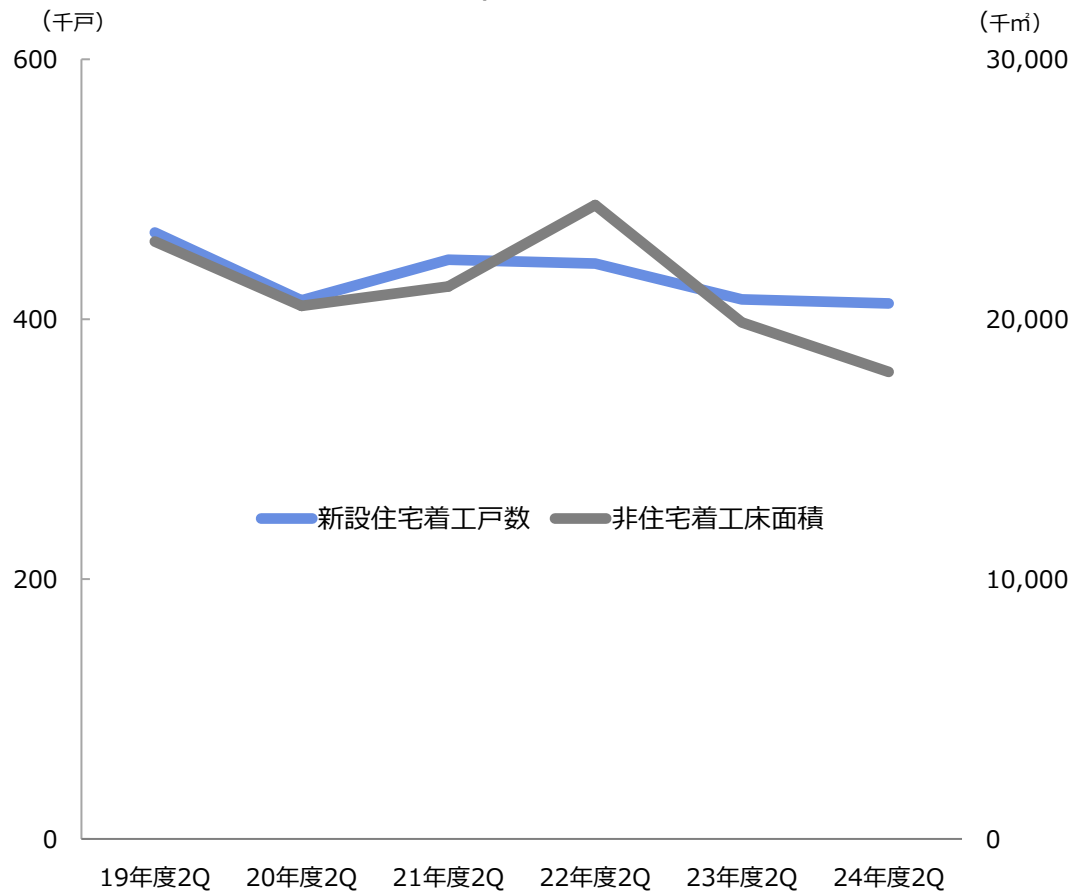


# 室内装飾関連事業の状況

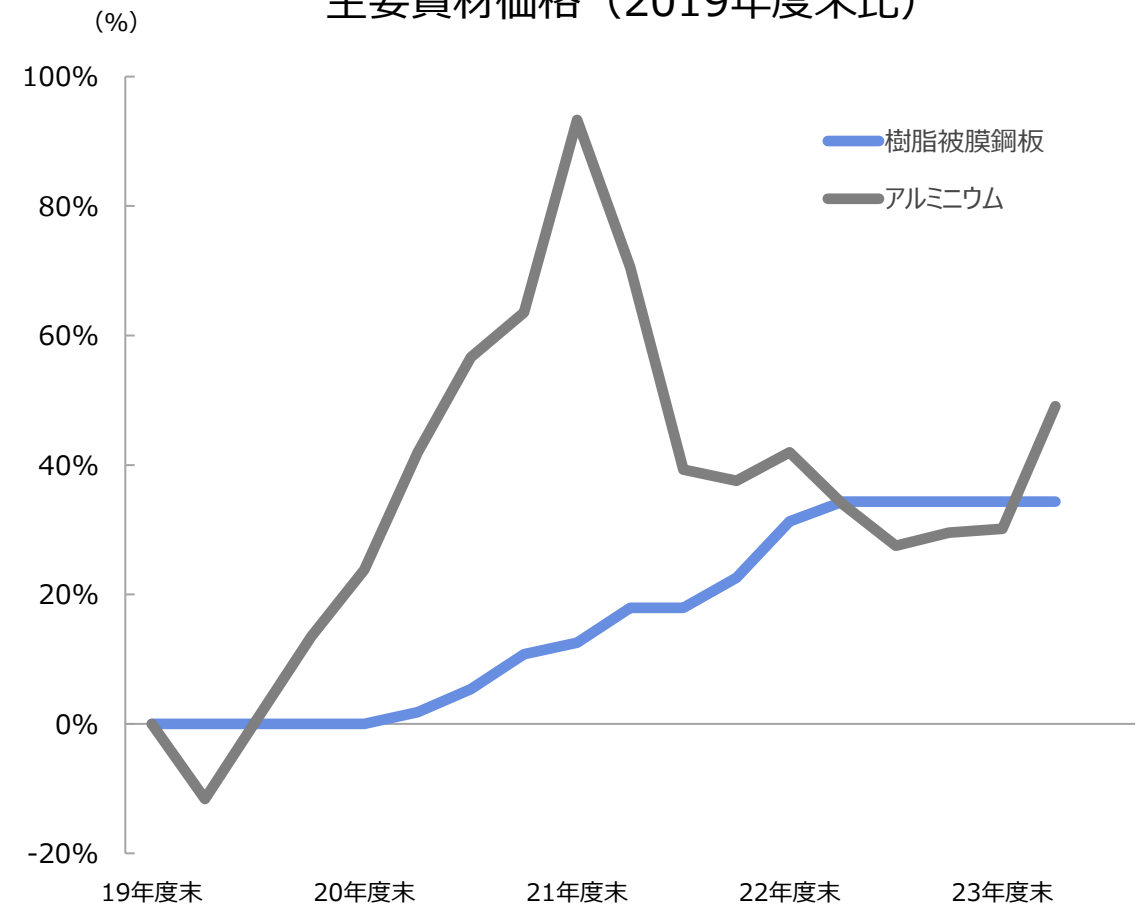
## 外部環境

## 住宅・非住宅着工の減少、原材料価格の高騰続く

### 事業環境の動向



### 主要資材価格 (2019年度末比)



# 室内装飾関連事業の状況

## 取組内容

## 新製品発売 & 新製品展示会“トーソーフェス”開催



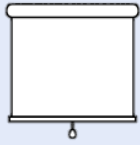
ロールスクリーン

バーチカルブラインド

トーソー新製品展示会 2024  
**WITH\_Living!**  
触って、試せるトーソーフェス



# 室内装飾関連事業の状況



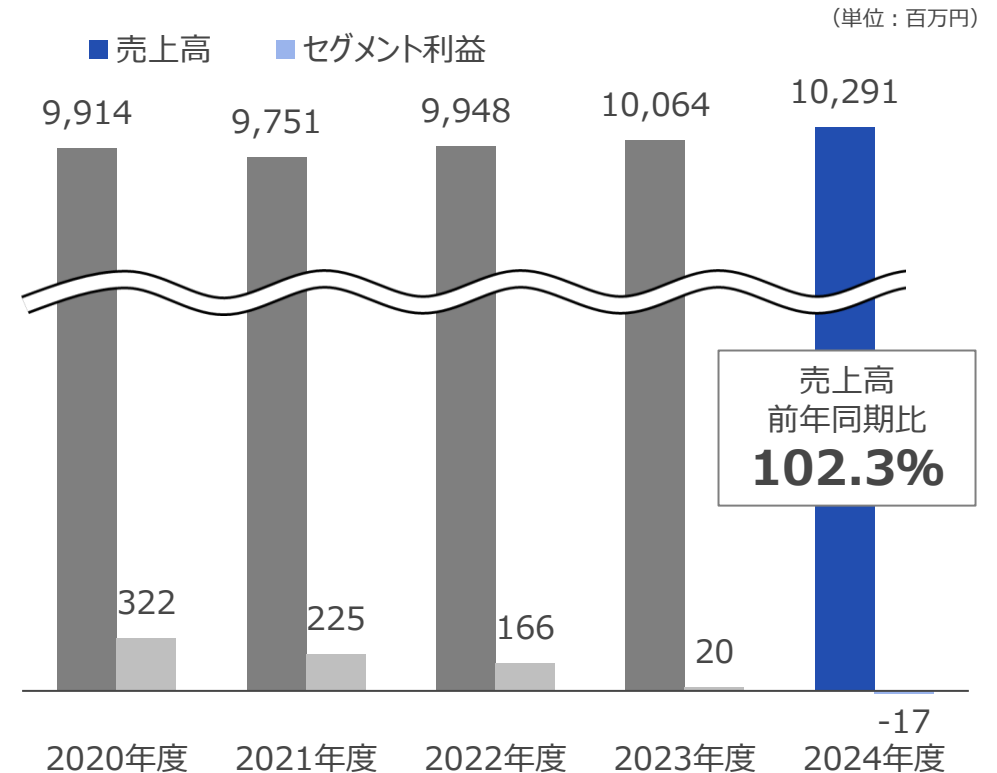
## 概況

### 外部環境

- 新設住宅着工戸数は持家を中心に減少
- 宿泊施設を中心とした非住宅や海外市場が持ち直し傾向
- 原材料価格の高騰や為替の影響続く

### 内部取組

- 価格改定を実施
- ロールスクリーン・バーチカルブラインドの新製品を発売
- 新製品展示会を全国19ヶ所で開催



**住宅向けカーテンレールやハンギングバーの販売増、価格改定等により増収  
利益面では営業活動費用の増加等により減益**



# その他の事業の状況

## 取組内容

## バリアフリー展やオンライン展示会への出展



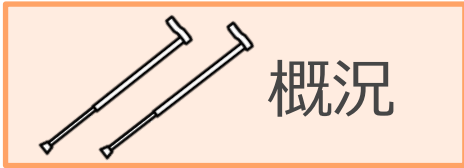
バリアフリー展 2024 (大阪)



障がいのあるなし、年齢の垣根を超え



# その他の事業の状況

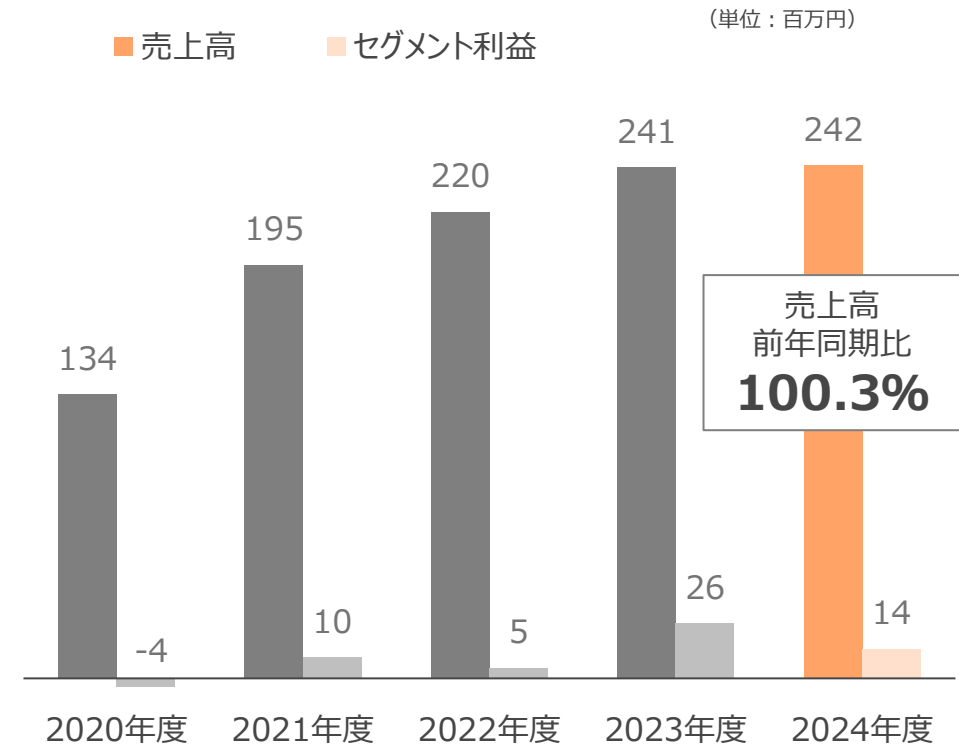


外部環境

- 行動制限の緩和が寄与
- 資源・エネルギー価格の高騰や為替の影響あり
- 有力販売先の事業縮小の影響あり

内部取組

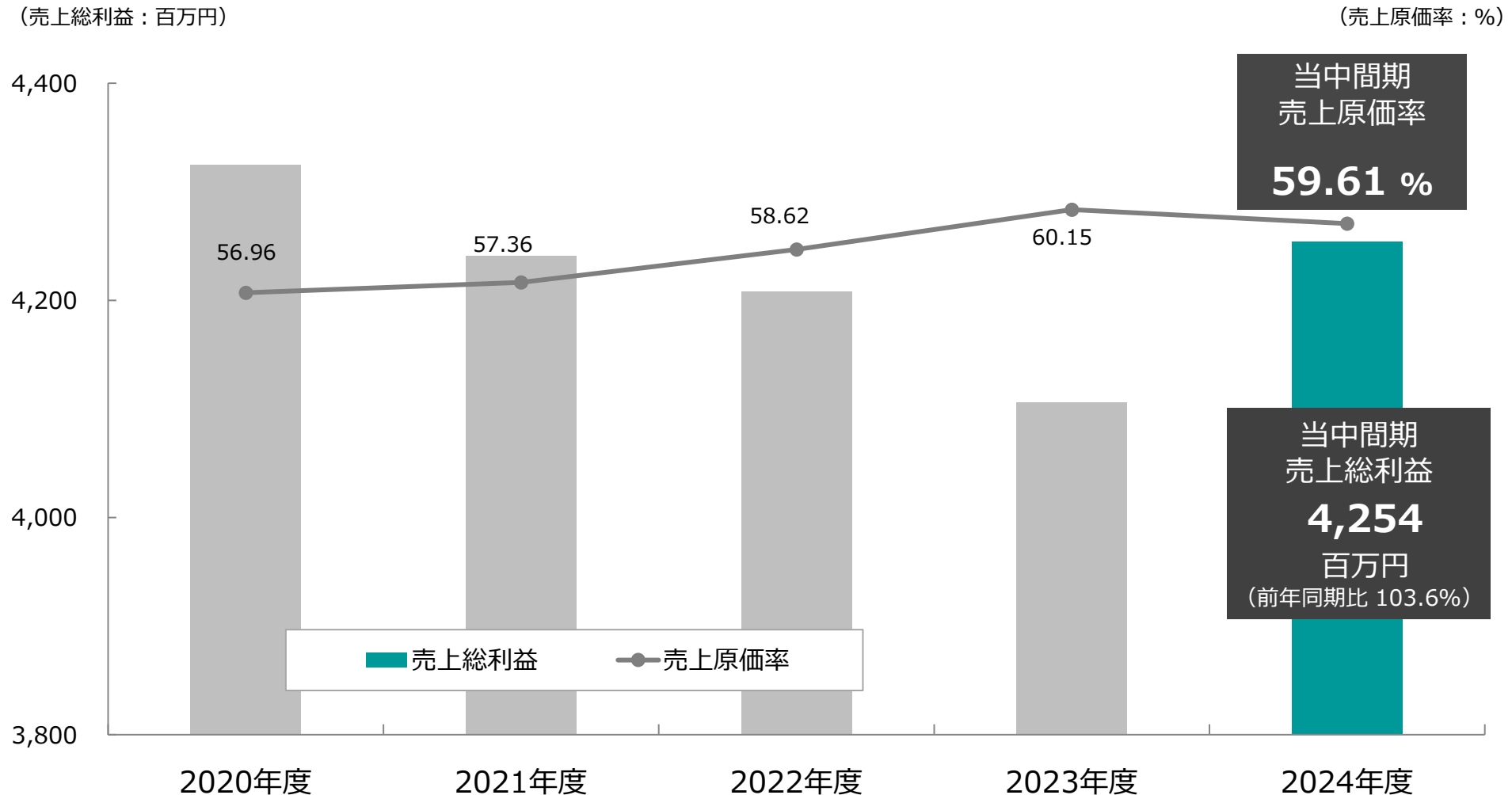
- 新エリア開拓や既存販売店との取り組み強化
- 「バリアフリー展」に出展



**新規取引の増加により売上高は増収  
利益面では、為替変動や営業活動費用の増加等により減益**

# 売上総利益・売上原価率の推移

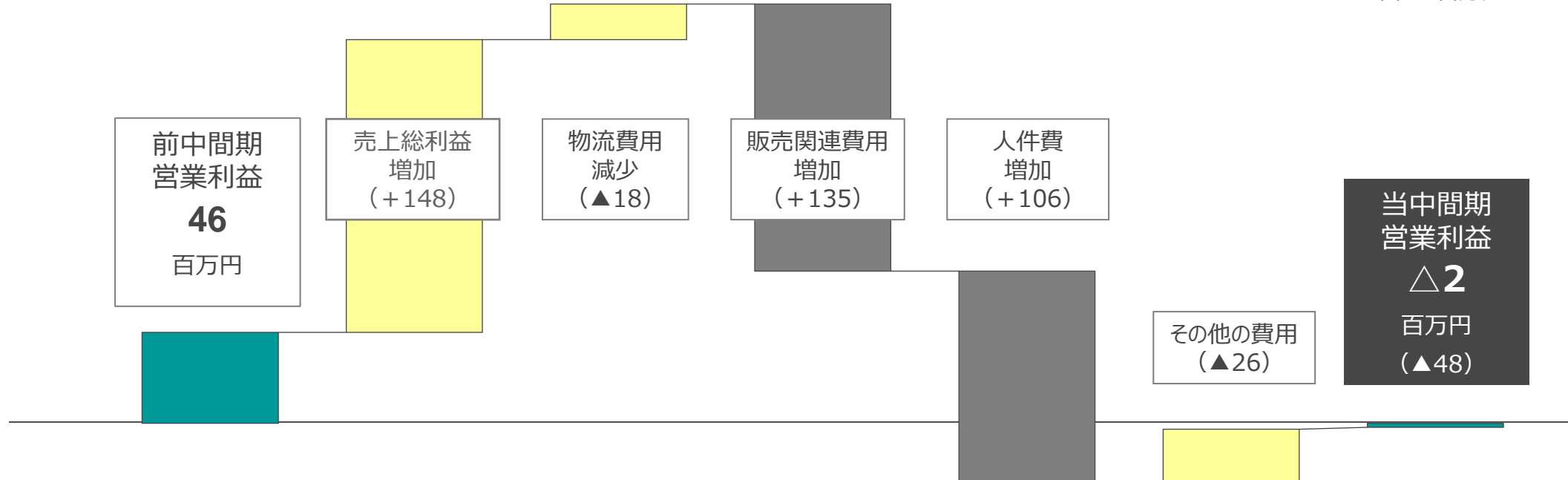
## 原価低減に加え、価格改定が寄与



# 固定費・営業利益

売上総利益が増加したものの、  
販促費や人件費等の増加により営業利益は減益

単位：百万円



※ ( ) 内は前年同期との増減金額

# 貸借対照表・キャッシュフロー計算書

## 【貸借対照表】

単位：百万円

《主な変動要因》	総資産 <b>21,342</b> 百万円 (▲315)		《主な変動要因》
<b>流動資産</b> ・現金及び預金 (+288) ・売上債権 (▲881) ・棚卸資産 (+473) ・その他 (▲226) など	流動資産 <b>15,691</b> (▲346)	負債 <b>7,123</b> (▲119) 有利子負債 <b>1,521</b> (+259)	<b>負債の部</b> ・仕入債務 (▲395) ・短期借入金 (+259) ・未払金 (▲189) など
<b>固定資産</b> ・有形固定資産 (+63) ・無形固定資産 (▲20) ・投資その他の資産 (▲11) など	固定資産 <b>5,650</b> (+31)	純資産 <b>14,218</b> (▲195)	<b>純資産の部</b> ・利益剰余金 (▲82) ・繰延ヘッジ損益 (▲245) ・為替換算調整勘定 (+205) など

※ ( ) 内は前期末比増減

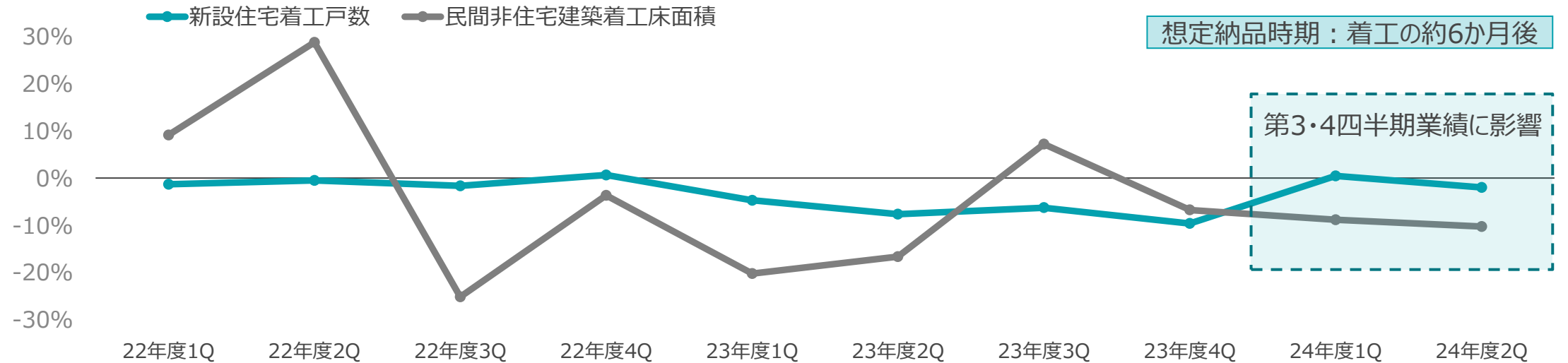
## 【キャッシュフロー計算書】

	前期	当期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	316 百万円	<b>315</b> 百万円	<b>▲0</b> 百万円
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲242 百万円	<b>▲217</b> 百万円	<b>+24</b> 百万円
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲125 百万円	<b>106</b> 百万円	<b>+232</b> 百万円

# 2025年3月期（2024年度）の見通し

## 2025年3月期（2024年度）の見通し

住宅および非住宅の着工推移（前年同期比）



(※)国土交通省「建築着工統計調査」を基に作成。

市場環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内経済は回復基調で推移するとみられるものの、国際情勢等の懸念もあり、先行きは不透明</li> <li>引き続き資材価格の高騰や為替変動に伴う影響が発生する見通し</li> <li>住宅関連市場は、新設住宅着工戸数は前年並み～微減、非住宅着工床面積は前年割れの見通し</li> </ul>
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>JAPANTEX等のイベント及びSNS等による上期に発売した新製品の拡販</li> <li>コア領域（住宅分野）の深耕と成長領域（非住宅分野、用途開発、海外事業、新規領域）への取組強化</li> <li>一層の原価低減推進および費用低減や、サステナビリティへの取り組み推進</li> </ul>

# 2025年3月期（2024年度）の見通し

## 【2025年3月期（2024年度）通期業績予想】

	2023年度 中間期実績	2024年度 中間期		(参考) 2023年度 通期実績
		実績	前期同期比	
売上高	10,305	10,533	102.2%	21,605
原価率	60.15%	59.61%	(※) 99.1%	60.29%
販管費	4,060	4,257	104.9%	8,095
営業利益	46	△2	-	483
経常利益	89	10	11.9%	534
親会社株主に帰属する当期純利益	27	△37	-	294



2024年度 通期	
見通し	前期比
<b>22,700</b>	105.1%
継続的な原価低減活動を推進	
効率・採算性を重視した費用執行	
<b>580</b>	120.0%
<b>630</b>	117.8%
<b>350</b>	118.7%

(※)原価率の前年同期比は、「2024年度原価率」÷「2023年度原価率」にて算出



## 「Vision2025」第3フェーズ中期経営計画の進捗

# 「Vision2025」第3フェーズ概要

◆ 目標指標      売上高      **240**億円      ROE      **6%**以上

## ◆ 重点施策

- 1 コアビジネスにおける「TOSO」特有の新しい企業価値創造
- 2 成長戦略への重点投資による事業領域拡大
- 3 持続的な企業成長を実現するための強固な経営基盤の再整備

## ◆ 資本コストを意識した経営

- 配当方針の変更
- 機動的な自己株式の取得
- キャッシュアロケーション

## ◆ サステナビリティへの取り組み

- GHG排出量・廃プラスチック廃棄量削減
- ダイバーシティの推進、人材育成
- 定量目標項目の設定および開示

# 重点施策の進捗

## 1. コアビジネスにおける「TOSO」特有の新しい企業価値創造

### (1) カーテンレールNo.1メーカーとしての優位性の極限化

- 電動カーテンレール用ウェーブスタイル部材の発売によるウェーブスタイルの訴求強化
- 窓周辺向け新製品（Naivis）発売およびハンギングバー販促強化による窓周辺での売上・シェア拡大
- スマートフォンで操作できる電動カーテンレールの販促



### (2) 顧客視点のサービス、プロモーションの徹底

- WEB関連販促ツール活用等によるエンドユーザーへの直接訴求
  - Instagramフォロワー数 約2,500UP
  - オウンドメディア「Madoかけ」記事投稿数39UP



# 重点施策の進捗

## 2.成長戦略への重点投資による事業領域拡大

### (1) 非住宅分野

- 都市部を中心とした営業活動強化
- インバウンド需要の高まりによる宿泊施設の好調
- 遮熱・遮光スクリーンの品揃え強化



### (2) 用途開発

- 窓まわり製品で培った技能・技術を活用
- 車両、エクステリア向け商品が好調
- 船舶・鉄道・重機向けなどの製品提案を実施



### (3) 海外販売

- 2024年2月開催「R + T」を足掛かりに新規代理店獲得
- ウェーブカーテンシステムの提案



### (4) 新規ビジネス領域

- 福祉関連用品は好調
- それ以外の新規ビジネスの開拓は積極的な活動できず

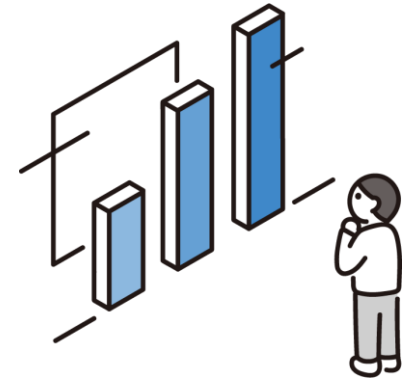


# 重点施策の進捗

## 3. 持続的な企業成長を実現するための強固な経営基盤の再整備

### (1) 利益体質強化に向けた生産体制・コスト構造の再構築

- 価格改定実施
- 原価低減に向けた活動強化により売上原価率が低下
- ただし、原材料価格や人件費、物流費等の高騰は続く見込みであり、更なる対策が必要



### (2) エンゲージメント向上のための職場環境づくり

- 前年度エンゲージメント調査結果を踏まえたアクションプランの検討・実施
- 職場環境の改善
- ベースアップ実施
- 時差出勤制度の正式導入



# 資本政策およびサステナビリティへの取り組み

## 資本政策（資本コストを意識した経営）

- 自己株式の取得の実施（2024年9月末実績）
  - 取得した株式の総数 : 137,200株
  - 株式の取得価額の総額 : 69,611,700円
- 配当性向20%程度を目安とする

## サステナビリティへの取り組み

- 8月発行統合報告書にて各種データを開示
- 7月に環境配慮型新製品を発売
  - バイオ由来の糸を使用したスクリーン（グリーン購入法適合生地）
  - 染色工程を無くすことで環境負荷を低減する無染色スクリーン など
- 健康経営の取り組み推進



**TOSO トーソー株式会社**

(東証スタンダード市場 証券コード : 5956 )

当資料に関するお問い合わせ先 : トーソー株式会社 経営管理部 経営企画課

TEL : 03-3552-5877    FAX : 03-3555-3785    E-mail : [ir@toso.co.jp](mailto:ir@toso.co.jp)